

## 例 言

- 1 本書は京都府相楽郡木津町、奈良県奈良市にまたがって、日本住宅公団がおこなう平城ニュータウン造成計画地内に所在する遺跡の、1978年度の調査の概報である。
- 2 この調査は京都府教育委員会、奈良県教育委員会が日本住宅公団より委託を受けたものを、奈良国立文化財研究所平城宮跡発掘調査部へ依頼して実施したもので、その調査費用は、日本住宅公団大阪支所の負担による。
- 3 今回の調査は1964・1965年におこなった分布調査にもとづいて、今後の調査および保存計画を立案するための予備調査であり、1972・1973年度に調査できなかった部分の調査である。
- 4 分布調査をおこなった時点では、ニュータウン計画の事業地範囲が未確定であったため、若干の周辺部を含めて、事業地内に所在する遺跡に通し番号をつけた。今回の調査にあたってはこの番号を使用した。このうち第7号地点・第9号地点の遺跡には従来から固有の名称が付されており、それぞれ石のカラト古墳、音如ヶ谷瓦窯と称している。
- 5 本書は奈良国立文化財研究所平城宮跡発掘調査部が作成にあたり、主として発掘調査担当者が分担して行った。執筆分担は下記の通りである。
  - I 清水真一、II 金子裕之、III(一)・(三)・(四)・(五)岡本東三、(二)田中哲雄、(四)巽淳一郎・吉田恵二、IVⅣ-1今泉隆雄、Ⅳ-2立木修、V 佐藤興治、写真撮影 佃幹雄、編集 清水真一なお第4図「五ヶ村惣図」については廣吉寿彦氏（県立奈良図書館）に御教示を得、杉本敏昭氏（西大寺フォト）より写真の提供を受けた。